

富山県国公立高等学校等 奨学のための給付金

令和 8 年度申請案内

富山県教育委員会では、授業料以外の教育費（教科書費、教材費など）の負担を軽減するため、国公立高等学校等に通う高校生等のいる低・中所得世帯に対し、返還不要の給付金を支給します。

1 対象となる世帯

令和8年7月1日現在において、次の要件をすべて満たす世帯

- ① 保護者等が富山県内に居住していること。（※1）
- ② 生徒が高等学校等就学支援金、高校生等・新修学支援金、学び直し支援金又は専攻科修学支援金の対象となる者であること。
- ③ 生活保護（生業扶助）受給世帯（※2）又は保護者等全員の令和8年度道府県民税所得割額と市町村民税所得割額の合算額が下記の区分世帯であること。

※1 富山県外にお住まいの場合は、お住まいの都道府県教育委員会へお問い合わせください。
保護者等が海外に居住しており住民税の所得割額が確認できない場合は、対象となりません。

※2 生徒等の生業扶助（高等学校等修学費）の措置状況により判定します。

2 給付金額（年額）

区 分	全日制・定時制
① 生活保護（生業扶助）受給世帯	32,300 円
② 住民税非課税世帯	143,700 円
③ 所得割額の合算額が 100 円以上 105,500 円未満	47,900 円
④ 所得割額の合算額が 105,500 円以上 182,500 円未満	35,930 円
⑤ 上記④～⑤に該当し、災害等により制服の再購入が必要となった世帯	64,800 円（②への加算額） 21,600 円（③への加算額） 16,200 円（④への加算額）

※③と④については、高等学校就学支援金（新制度）、学び直し支援金（新制度）又は専攻科就学支援金の対象者が対象です。

○ 家計の急変により収入が減少した世帯は、家計急変給付の対象となります。

家計急変給付の申請案内をご覧ください。

3 所得基準確認方法

所得課税証明書や課税証明書で確認する場合（自営業等）

県・市民税所得課税証明書

所 名	富山県〇〇市〇〇123番地 立山 太郎	生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日生 男	
令和7年分 合計所得金額	課税標準額		令和8年度 市・県民税・森林環境税	
	総所得	×円	市民税	県民税
	山林・分離所得等	×円	市民税	県民税
△△円		所得割額	円	円
		均等割額	3,000 円	1,500 円
				1,000 円

令和7年分所得の内訳	所得控除の内訳	同一生計配偶者
所得金額 円	社会保険料控除額 円	扶養親族 老人 人(内同居老人 人)
収入 円	生命保険料控除額 円	人・16歳未満 人・その他 人
	基礎控除額 円	人(内同居 人)・その他 人

令和8年度であることを確認

保護者等全員の
「市町村民税所得割額」
「道府県民税所得割額」
の合計額を確認

⇒ 182,500円未満
であれば給付金対象

道府県民税・市町村民税の特別徴収額の決定・変更通知書で確認する場合（会社員等）

[illegible]

令和8年度であることを確認

保護者等全員の
「市町村民税所得割額」
「道府県民税所得割額」
の合計額を確認

⇒ 182,500円未満
であれば給付金対象

4 提出書類

- ☐ 高等学校等奨学給付金受給申請書(様式1)
- ☐ ☐座振替届出書 (金融機関・口座番号・口座名義がわかる通帳の写しを添付)
- ☐ 生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書(様式2) ※生活保護受給世帯のみ
- ☐ 保護者等全員の令和8年度道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が確認できる書類

※生活保護受給世帯は除く

- ・(非)課税証明書(所得証明書ではありません) ※所得割額が確認できる様式のもの
- ・道府県民税・市町村民税の特別徴収額の決定・変更通知書(写)
- ・道府県民税・市町村民税の納税額通知書(写)

うち、いずれか
各1部
(保護者全員分)

- ☐ 扶養誓約書(様式7)

※7月1日現在で生徒が18歳以上であり、主たる生計維持者が1名の世帯のみ

- ☐ 制服の再購入に係る誓約書(様式10)

※災害等により、制服の再購入が必要となった世帯のみ

- ☐
- 罹災証明書

※災害等により、制服の再購入が必要となった世帯のみ

5 申請書等提出期限【締切厳守】

申請書等は令和8年10月6日(火)までに事務室へ提出してください。

※申請される場合は、事務室へ関係書類を取りに来ていただくか、または本校ホームページから様式をダウンロードの上、提出してください。

※昨年度までは対象者に郵送しておりましたが、制度変更に伴い学校で対象者が把握できなくなったため、対象の方は申請漏れのないようご注意ください。

様式1-1 (その1)

令和 年 月 日

富山県教育委員会 殿

高等学校等奨学給付金受給申請書

次の4点を確認の上、□に✓を付けてください。

- ☐ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、富山県の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☐ 私は富山県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- ☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

富山県国公立高等学校等奨学給付金の受給を申請します。

申請者住所 (保護者等住所)	〒 TEL () -	ふりがな	
		申請者氏名 (保護者等氏名)	
対象生徒との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・ 高校生等本人・その他()		

※専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」と、「高校生等」を「生徒」と読み替えるものとする（以下同様）。

【対象となる高校生等について】

ふりがな			生年月日	昭和 平成	年	月	日
氏名 (対象生徒氏名)							
在学する学校	学校の名称	国立・ 公立 富山県立高岡商業高等学校					
		学校の種類・課程・学科：①高等学校（全日制）					
	学校の所在地	富山 都道府県 高岡 市区町村 横田286番地					
	在学期間	令和 年 月 日 ~					
過去の高等学校等 における在学期間	学校名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数			
	立	~ 年 月 日 年 月 日		なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □			
	学校名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数			
	立	~ 年 月 日 年 月 日		なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □			

【1】記入が必要となる様式について

(次の①②のいずれかの該当する□に✓を付けて、申請に必要な様式に記入してください。)

①	☐	申請者が富山県に在住し、高校生等が富山県立高等学校に在籍しています。 ⇒ 様式1-3 を記入してください。
②	☐	申請者が富山県に在住し、高校生等が富山県立高等学校以外の国公立高等学校等に在籍しています。 ⇒ 様式1-2、様式1-3 を記入してください。

【4】保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の収入等の状況について(該当する□に✓を付けてください。)

(1) 生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)の受給について

①	☐	受給していますので、生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることがわかる証明書を提出します。(専攻科を除く)
②	☐	私の世帯は7月1日(前倒し給付の場合は4月1日)現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)は受給していません。

※【4】(1)①に該当する場合は、以下の記入は不要です。

(2) 次の者の所得に関する書類(個人番号カード(写)等貼付台紙又は課税証明書等)及び(記入上の注意【生計維持者の収入等の状況について】ホに該当する場合)扶養親族申告書、(記入上の注意【保護者等の収入等の状況について】ニに該当する場合)扶養誓約書を提出します。

①	☐	親権者(両親)2名分
②	☐	親権者1名分 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の所得に関する書類等を提出できない場合等 ・(専攻科のみ)満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの□に✓を付けてください。
③	☐	未成年後見人()名分 ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)※未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	☐	高校生等の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(両親等)2名分 高校生等が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	☐	国立・公立 富山県立高岡商業高等学校
⑥	☐	学校の種類・課程・学科: ①高等学校(全日制)

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」、「高校生等」を「生徒」と読み替えるものとする(以下、同様)。

(3) 所得に関する書類を提出する者の氏名・生徒との続柄及び住民票の届出住所がある市町村までの住所を記入してください。(住民票の届出住所と課税地が異なる場合は課税地を記入して下さい。)

ふりがな		高校生等との 続 柄	令和8年1月1日時点の住所
氏名			都 道 市 区 村 府 県

ふりがな		高校生等との 続 柄	令和8年1月1日時点の住所
氏名			都 道 市 区 村 府 県

※前倒し給付の場合は、前年の1月1日時点の住所を記入してください。

記入上の注意

【対象となる高校生等について】の欄は次によって記入してください。

- イ 現在通っている学校の在学期間について、記入してください。また、過去に高等学校等に在学したことがある場合には、当該学校の在学期間についても記入してください。
- ロ 「高等学校等」とは、国公立の高等学校（専攻科を含む）、中等教育学校の後期課程（専攻科を含む）、高等専門学校（第1学年から第3学年に限る）、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるものをいい、令和7年度の高等学校等就学支援金であれば対象となる各種学校のうち告示指定を受けた外国人学校を含みます。
- ハ 「学校の種類・課程・学科」の欄には、「①高等学校（全日制）」、「②高等学校（定時制）」、「③高等学校（通信制）」、「④高等学校（専攻科）」、「⑤中等教育学校（後期課程）」、「⑥中等教育学校（専攻科）」、「⑦高等専門学校（1～3学年）」、「⑧専修学校（高等課程）昼間学科」、「⑨専修学校（一般課程）昼間学科」、「⑩専修学校（高等課程）夜間等学科」、「⑪専修学校（一般課程）夜間等学科」、「⑫専修学校（高等課程）通信制学科」、「⑬専修学校（一般課程）通信制学科」、「⑭各種学校（外国人学校）」、「⑮各種学校（その他）」、「⑯特定教育施設」の別を記入してください。

【2】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等についての欄は、次によって記入してください。

- イ 高校生等の在留資格が「家族滞在」である場合において、「小学校」は、「日本の小学校、義務教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部」をいい、「中学校」は「日本の中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部」をいい、「高等学校」は「日本の高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校の第三学年又は専修学校の高等課程（修業年限が三年以上のものに限る。）」をいいます。
- ロ 高校生等の在留資格が「家族滞在」である場合において、「日本国で就労する意思の有無」は、「高等学校の卒業又は修了後、就労して引き続き日本国に在留する意思」を問うものですが、高等学校等の卒業又は修了後、直ちに就労をするものに限られません。

【4】保護者等の収入等の状況についての欄は、次によって記入してください。

- イ 保護者とは、親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいい、次の①～⑤は除きます。
 - ①児童福祉法第33条の2第1項、第33条の8第2項又は第47条第2項の規定により親権を行う児童相談所長
 - ②児童福祉法第47条第1項の規定により親権を行う児童福祉施設の長
 - ③法人である未成年後見人
 - ④民法第857条の2第2項に規定する財産に関する権限のみを行使すべきこととされた未成年後見人
 - ⑤その他高校生等の就学に要する経費の負担を求めることが困難と認められる保護者
- ロ (1) ①に該当する場合は、認定基準日において生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書を提出してください。
- ハ (2) ②に該当するときは、必ず「親権者」全員の状況を確認の上、記入してください。
 (2) ②の「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カードの写し等又は課税証明書等を提出できない場合」とは、例えば、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合が該当します。この「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の個人番号カードの写し等又は課税証明書等を提出できない場合」は、(2) ⑤及び⑥の「親権者が存在しない場合」に含まれます。
 (注) 共同親権であるため親権者は2名だが、親権者の一方に就学に要する経費の負担を求めることが困難と思われる場合は、お住まいの都道府県へ相談してください。
- ニ (2) ①、③又は④に該当するときは、保護者等全員の個人番号カード又は課税証明書等の写し等を添付してください。
- ホ (2) ⑤又は⑥に該当するときは、高校生等本人又は主として高校生等の生計をその収入により維持している者（医療保険各法（注）における扶養者等）の個人番号カードの写し等又は課税証明書等を添付してください。また、主として高校生等の生計をその収入により維持している者がいるかどうかについて確認できる書類（扶養誓約書等）を添付してください。
 (注) 医療保険各法とは、健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は私立学校教職員共済法をいう。

【4】生計維持者の収入等の状況についての欄は、次によって記入してください。

イ 生計維持者とは、

①生徒に父母がいる場合

当該父母とします。（収入の有無・多寡を問わず、両親がいる場合は両親（2名）。ひとり親等の場合は父又は母のみ）

②生徒に父母がいない場合又は生徒が以下の（1）～（4）に掲げる者である場合

当該生徒又は父母に代わって生計を維持する者がいる場合は、当該者とします。

（1）満18歳となる日の前日において児童福祉法第27条第1項第3号の規定により同法第6条の4に規定する里親に委託されていた者又は同号の規定により入所措置が採られて同法第41条に規定する児童養護施設に入所していた者

（2）満18歳となる日の前日において児童福祉法第27条第1項第3号の規定により同法第6条の3第8項に規定する小規模住居型児童養育事業を行う者に委託されていた者又は同号の規定により入所措置が採られて同法第43条の2に規定する児童心理治療施設若しくは同法第44条に規定する児童自立支援施設に入所していた者

（3）満18歳となる日の前日において児童福祉法第6条の3第1項に規定する児童自立生活援助事業を行う者に委託されていた者

（4）そのほか、社会的養護が必要と認められる者

ロ （2）①に該当するときは、父母全員の課税証明書等を添付してください。

ハ （2）②に該当するときは、必ず「父母」全員の状況を確認の上、記入してください。

（2）②の「家庭の事情によりやむを得ず、父母の1人の課税証明書等を提出できない場合」とは、例えば、行方不明、ドメスティックバイオレンス、精神疾患・意識不明で意思疎通ができない等の事情が存在する場合が該当します。一方、家庭の事情によりやむを得ず、父母全員の課税証明書等を提出できない場合は、父母が存在しない場合に含まれるものとして、（2）⑤又は⑥のうちいずれか該当するものを選択してください。

ニ （2）⑤又は⑥に該当するときは、生徒本人又は生徒の生計をその収入により維持している者（医療保険各法（注）における扶養者等）1名分の課税証明書等を添付してください。また、生徒の生計をその収入により維持している者がいるかどうかを確認できる書類（扶養誓約書等）を添付してください。

（注） 医療保険各法とは、健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は私立学校教職員共済法をいいます。

ホ （専攻科の場合）生計維持者全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割の合計が105,500円以上264,500円未満かつ扶養する子が3人以上に該当する場合は生計維持者全員の市町村民税上の扶養親族を記載した扶養親族申告書を個人番号カードの写し等又は課税証明書等とともに添付してください。

留意事項

イ 都道府県が最新の道府県民税所得割額と市町村民税所得割額の合算額及び市町村民税の扶養親族の情報を個人番号を利用して確認します。

ロ 「個人番号」とは行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号であり、「個人番号カード」とは同条第7項に規定する個人番号カードです。

ハ 過去に国公私立を問わず高等学校等（修業年限が3年未満のものを除く。）又は高等学校等専攻科を卒業し又は修了したことがある場合には、奨学給付金の受給資格はありません。

ニ 2つ以上の課程に在学している場合は、いずれか1つの課程を選んで申請をしてください。

ホ 国籍が「日本国以外」の生徒であって、申請時点で在留期間が経過していても、在留期間の延長申請を既に行っている場合（出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第20条第6項の規定による「特例期間」に当たる場合）には、申請は可能ですが、在留期間の延長が認められたことを証明する書類の提出が必要です。

なお、特別永住者又は永住者は、提出書類に在留期間が記載されている必要はありません。

ヘ 認定基準日現在、「児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について（令和5年5月10日こ支家第47号）」による措置費等の支弁対象となる高校生等であって、見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。）が措置されている場合は、補助対象外となります。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

「奨学のための給付金」口座振替届出書

(奨学のための給付金の支給が決定した場合は、次の口座に振り込んでください。)

フリガナ											
申請者氏名 (保護者等氏名)											
申請者 住所 (※1)	郵便番号										
	住 所										
	電話番号										
振込先 口座 (※2)	金融機関名										
	店番号 (支店名)										
	預金種別	1	普通預金 (総合口座含む)	口座番号 (右詰めで記入)							
		2	その他 ()								
	口座名義 (カタカナ)										

(注意)

- ※1 申請者住所の郵便番号、住所、電話番号は申請書に記入したものと同一ものを記入してください
- ※2 振込先口座は、申請者本人名義のものに限ります。
- ※3 本書の内容は、「奨学のための給付金」事務以外の目的で使用することはありません。

通帳(写)貼付欄

- ・振込先口座確認のため、通帳の口座情報の分かるページの写しを添付してください。
- ・振込先口座は、申請者本人名義の口座を指定してください。
- ・金融機関名、店番号(支店名)、預金種別、口座番号及び口座名義がわかる部分のコピーを貼り付けてください。
- ・ゆうちょ銀行の場合は、通帳を開いて1ページ目のコピーを貼り付けて下さい。

生活保護法（昭和 2 5 年法律第 1 4 4 号）第 3 6 条の規定による
生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書

令和 年 月 日

市福祉事務所長

次の世帯が、令和 8 年 7 月 1 日現在、生活保護法（昭和 2 5 年法律第 1 4 4 号）第 3 6 条の規定による「生業扶助（高等学校等就学費）」の受給中であることを証明する。

世帯主氏名	住所		
世帯員氏名			
氏 名	続柄	生年月日	生業扶助（高等学校等 就学費）受給の有無
		年 月 日生	有 ・ 無
		年 月 日生	有 ・ 無
		年 月 日生	有 ・ 無
		年 月 日生	有 ・ 無
		年 月 日生	有 ・ 無
			有 ・ 無
			有 ・ 無
証明書の使用目的 高等学校等奨学給付金の受給申請手続きのため			
備考			

担当課名
連絡先

※この様式は、「奨学のための給付金」を申請する世帯の扶養者が「主たる生計維持者1名」の場合、申請書に添えて提出してください。

様式7

令和 年 月 日

扶 養 誓 約 書

富山県教育委員会 殿

扶養者住所：

扶養者氏名：

以下の事項を必ず確認の上、□にレ印及び必要事項を記入してください。

□この誓約書の記載内容は、事実と相違ありません。

私と下記の者は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

ふりがな	
①被扶養者氏名 (生徒氏名)	
①被扶養者生年月日・年齢	年 月 日 (歳)
①被扶養者との続柄 (注)	

ふりがな	
②被扶養者氏名	
②被扶養者生年月日・年齢	年 月 日 (歳)
②被扶養者との続柄 (注)	

ふりがな	
③被扶養者氏名	
③被扶養者生年月日・年齢	年 月 日 (歳)
③被扶養者との続柄 (注)	

(注) 被扶養者の生年月日は和暦で記載してください。

年齢は、申請書記載時の年齢を記載してください。

続柄は扶養者から見た被扶養者との続柄（長男、次女等）を記載してください。

令和 年 月 日

制服の再購入に係る誓約書

富山県教育委員会 殿

申請者住所：

申請者氏名：

対象生徒に保護者がいる場合、一般的に申請者は保護者となります。

下記の者について、着用を義務付けられている制服が、令和 年 月 日に発生した
_____（災害等名を記載）により喪失（毀損）したことを誓約します。

対象生徒氏名	
在学する学校の名称	
対象生徒との関係	

制服の再購入に係る証明書

当校では生徒に制服の着用を義務付けており、今後の学校生活に支障が生じることから、上記の生徒については、再度、制服の購入が必要であることを証明します。

令和 年 月 日

富山県立高岡商業高等学校
学校長

担当課
連絡先

富山県教育委員会 殿

内容をよく読んだ上で、
☑を付けてください。

高等学校等奨学給付金受給申請書

次の4点を

ご確認ください。

- ☒ この申請書
☒ この申請書
☒ 私は富山県
☒ この申請書
(母子生活支援)

ご注意ください。就学支援金の制度とは異なります。

次のいずれかの世帯であることを確認の上、申請してください。

- 生活保護受給世帯
- 保護者等の道府県民税所得割及び市町村民税所得割の合計額が182,500円未満である世帯 ※海外在住のため課税されていなかった場合は対象になりません。

富山県国公立高

申請者住所 (保護者等住所)	〒930-0001 富山県中新川郡立山町〇〇 TEL (076) 400-△△△△	ふりがな とやま いちろう	申請者氏名 (保護者等氏名) 富山 一郎
対象生徒との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・ 高校生等本人・その他 ()		

※専攻科の場合、「親権者」とあるのは「専攻科生」と読み替えるものとする(以下同様)。

該当に○をつけてください。

【対象となる高校生等について】

ふりがな	とやま はなこ	氏名 (対象生徒氏名)	富山 花子	生年月日	昭和 22 年 7 月 10 日 平成
在学する学校	学校の名称	国立・公立 富山県立〇〇高等学校			
	学校の種類・課程・学科	①高等学校(全日制)			
	学校の所在地	富山県〇〇市〇〇 〇〇-〇			
在学期間	令和8年4月1日 ~ 始期：入学年度の4月1日				
過去の高等学校等 における在学期間	学校名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	
	立	~ 年 月 日		なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □	
	学校名	在学期間	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	
	立	~ 年 月 日		なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □	

学校から印字済みの申請書が配布されます。

【1】記入が必要となる様式について

(次の①②のいずれかに該当に☑をつけてください。申請に必要な様式に記入してください。)

①	☒	申請者が富山県に在住し、高校生等が富山県立高等学校に在籍しています。 ⇒ 様式1-3 を記入してください。
②	☐	申請者が富山県に在住し、高校生等が富山県立高等学校以外の国公立高等学校等に在籍しています。 ⇒ 様式1-2、様式1-3 を記入してください。

【4】保護内容をよく読んだ上で、
 (1) 生活維持者の収入等の状況について(該当する□に✓を付けてください。)

①	☐	受給していますので、生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることがわかる証明書を提出します。(専攻科を除く)
②	☒	私の世帯は7月1日(前倒し給付の場合は4月1日)現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)は受給していません。

※【4】(1)①に該当する場合は、以下の記入は不要です。

(2) 次の者の所得に関する書類(個人番号カード(写)等貼付台紙又は課税証明書等)及び(記入上の注意【生計維持者の収入等の状況について】ホに該当する場合)扶養親族申告書、(記入上の注意【保護者等の収入等の状況について】ニに該当する場合)扶養誓約書を提出します。

①	☒	親権者(両親)2名分
②	☐	親権者1名分 (親権者が、一時的に①～⑥のいずれかに□を付けてください。である場合は、その者を除く) ・離婚、死別等による親権者の変更等 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の所得に関する書類等を提出できない場合等 ・(専攻科のみ)満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの□に✓を付けてください。
③	☐	未成年後見人()名分 ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)※未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	☐	高校生等の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(両親等)2名分 高校生等が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	☐	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合等
⑥	☐	高校生等本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合等

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」、「高校生等」を「生徒」と読み替えるものとする(以下、同様)。

(3) 所得に関する書類を提出する者の氏名・生徒との続柄及び住民票の記載地を記入してください。(住民票の届出住所と課税地が異なる場合は本年1月1日時点の住民票の課税地の住所を記載してください。)

ふりがな	とやま いちろう	高校生等との続柄	令和8年1月1日時点の住所
氏名	富山 一郎	父	富山 都府 立山 市 区 村

ふりがな	とやま よしこ	高校生等との続柄	令和8年1月1日時点の住所
氏名	富山 良子	母	富山 都府 立山 市 区 村

※前倒し給付の場合は、前年の1月1日時点の住所を記入してください。

記入例

「奨学のための給付金」口座振替届出書

(奨学のための給付金の支給が決定した場合は、次の口座に振り込んでください。)

フリガナ		トヤマ イチロウ								
申請者氏名		富山 一郎								
申請者住所 (※1)	郵便番号	〒930-0001								
	住 所	富山県中新川郡立山町〇〇								
	電話番号	076-4〇〇-△△△△								
振込先口座 (※2)	金融機関名	北陸銀行								
	店番号 (支店名)	県庁内支店								
	預金種別	① 普通預金 (総合口座含む) ② その他 ()	口座番号 (右詰めで記入)	0	0	9	8	7	6	5
	口座名義 (カタカナ)	トヤマ イチロウ								

申請者本人名義の口座を記入してください。

振込先口座確認のため、通帳の口座情報の分かるページの写しを添付してください。

(注意)

- ※1 申請者住所の郵便番号、住所、電話番号は申請書に記入したものと同一ものを記入してください。
- ※2 振込先口座は、申請者本人名義のものに限ります。

◎個人情報については、「奨学のための給付金」事務以外の目的で使用することはありません。

※この様式は、「奨学のための給付金」を申請する世帯の扶養者が「主たる生計維持者1名」の場合、申請書に添えて提出してください。

様式7

令和〇〇年〇〇月〇〇日

扶 養 誓 約 書

富山県教育委員会 殿

扶養者住所：富山県中新川郡立山町〇〇

扶養者氏名：富山 一郎

以下の事項を必ず確認の上、□にレ印及び必要事項を記入してください。

☒ この誓約書の記載内容は、事実と相違ありません。

私と下記の者は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

ふりがな	とやま はなこ
①被扶養者氏名 (生徒氏名)	富山 花子
①被扶養者生年月日・年齢	平成20年 6月10日(18歳)
①被扶養者との続柄(注)	次女

ふりがな	
②被扶養者氏名	
②被扶養者生年月日・年齢	平成 年 月 日(歳)
②被扶養者との続柄(注)	

ふりがな	
③被扶養者氏名	
③被扶養者生年月日・年齢	平成 年 月 日(歳)
③被扶養者との続柄(注)	

(注) 被扶養者の生年月日は和暦で記載してください。

年齢は、申請書記載時の年齢を記載してください。

続柄は扶養者から見た被扶養者との続柄(長男、次女等)を記載してください。